

平均律

～ピアノで解き明かす バッハの秘密～

第2巻 (その4最終)

クラヴィーア曲集

2023/1/21 (土) 15:00
～17:30

講師 ◆ 山田 剛史

受講料 ◆ 3,050円 定員 ◆ 45名 会場 ◆ 学園創立50周年記念館ホール

内容 ◆ すべての長調と短調を使って作曲され、古くから「音楽の旧約聖書」「日々の糧」などと称えられてきた、バッハの《平均律クラヴィーア曲集》全2巻。この講座では、講師による実際のピアノ演奏を交えながら、各曲の性格や背景、大事な要素など、バッハのカンタータや受難曲、オルガン曲なども例にとりながら、その尽きせぬ魅力について幅広い視点からお話しています。

足掛け3年にわたる講座も、今回で完結となります。第2巻の最後の6曲、第19番から第24番までを扱い、素朴な幸せや喜びから、十字架につけられるイエスの苦しみまで、バッハの描き出す音楽世界の広がりや丹念に追っていきます。充実した内容の力作が続く中、終曲第24番のさり気ない佇まいが印象的です。

ご受講に関して ◆ 簡単な資料を当日配布します。ご興味があれば、是非楽譜などもご自由にお持ちください。

講師
紹介 やまだ たかし
山田 剛史

ピアニスト
国立音楽大学非常勤講師
東京学芸大学非常勤講師

東京藝術大学大学院修士課程修了、クロイツァー賞受賞。ローム ミュージック ファンデーションの奨学生としてケルン音楽大学に留学、国家演奏家試験に合格。クラウディオ・ソアレス、迫昭嘉、ニーナ・ティシュマン、アントニー・シピリの各氏に師事。また歴史的奏法に興味を持ち、オルガンをジャン＝フィリップ・メルカールト氏に、フォルテピアノを川口成彦氏に師事。2007年第5回東京音楽コンクール第1位および聴衆賞。ソリストとして秋山和慶氏指揮東京交響楽団をはじめ共演多数。室内楽・歌曲伴奏においても多くの演奏家から信頼を得ており、東京オペラシティ「B→C」、東京・春・音楽祭等に出演。ニコラウス・アーノンケールのアシスタントであったアントニー・シピリと学んだことで、古楽の基本理念や、それをモダン楽器に応用するアプローチ、奏法を身につけた。イギリス組曲全6曲やゴルトベルク変奏曲、平均律全2巻など、J. S. バッハの演奏解釈に定評がある一方、テッセラ音楽祭「新しい耳」でのジェフスキ《「不屈の民」変奏曲》やCD「モダン・エチュード」(レコード芸術誌特選盤)など、多彩な活動を展開。現在、国立音楽大学および東京学芸大学非常勤講師。

後援  一般社団法人全日本ピアノ指導者協会(ピティナ)



©Masaaki Hiraga

♪ 上記以外にも楽しい講座を沢山ご用意しております。お気軽にお問合せ下さい。♪

お問い合わせ
お申込み先

東邦音楽大学エクステンションセンター

〒112-0012 東京都文京区大塚4-46-9 Tel.03-3946-9667 Fax.03-3946-2455 <https://www.toho-music.ac.jp/>